
だんだんと・・・

ふいゆ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だんだんと・・・

【Zコード】

Z3900C

【作者名】

ふいゆ

【あらすじ】

主人公に迫る・・・究極の?選択??

(前書き)

非常にわかりにくく、作品になってしましました。
その辺は「ご」承願います。

私は夢をみた。

大きな大きなビルの上から落ちる夢。

怖かった。

落ちる瞬間の感覚がまだ体に残ってる。

落ちたときの絶望感。

私の耳のそばで空氣の切る音が聞こえた。

田の覚めた私。

体に不快感が残る。

昔から、こんな夢を見る。

そのときに限つて、

なんか嫌な事が起ころるんだ。

「・・・なんか、嫌だな、学校行くの。」

とかなんとか言いつつ私は制服に袖を通した。

今日は終業式だ。

学校休んだって、大して差し支えはないだろ？・・・。

このまま、サボってしまおう。

と私は思った。

その時、

「～～？」

急に頭の中に、映像が流れ込んできた。

そこに映るのは

・・・終業式の映像。

みんな、なんか意識が朦朧としている。

・・・眠いのかな？

ドオオオン・・・！

キヤアアアア！

どんどんクリアになつてく。

これは・・・

爆弾。

学校に行つたら・・・死んでしまう。

でも、全校生徒を死なせてしまつのは気が引けた。

どーせ、ほとんどの生徒は知らない人たちなのに。

先生に・・・爆弾のことを言おつか?と思つた。

言つてどうする?

もし犯人扱いされたらたまつたもんじやない。

誰が言うか、

そうだ

みんな

みんな死んじゃえばいいのに。

死ねよ

みんな

3月25日

都内の高校で爆弾騒ぎがありましたが、あれは高校の体育館を修理するために工事関係者が仕掛けたものだとわかりました。なお、この爆弾による被害者は・・・

一人だけだそうです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3900c/>

だんだんと・・・

2011年1月28日06時23分発行